

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公表番号】特表2013-538639(P2013-538639A)

【公表日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-057

【出願番号】特願2013-530725(P2013-530725)

【国際特許分類】

A 6 1 M 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月17日(2014.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体とカートリッジとを含む吸入器であって、前記カートリッジが投与量貯蔵部と通気路とを備え、前記投与量貯蔵部が複数回投与量の吸入可能な薬剤を収容するのに適し、前記通気路がその一端にマウスピースを含み、前記マウスピースを介したユーザによる吸入時に、前記投与量貯蔵部からの1回分の吸入可能な薬剤にアクセスしてこの薬剤を前記通気路を通じてユーザへ供給するための供給構成で配置できるように吸入装置が構成および配置され、前記カートリッジを前記本体に対して交換可能に取り付けることができる、吸入器において、前記投与量貯蔵部は、吸入可能な薬剤の予め計量された投与量を含む、複数の投与量容器を備えるように構成され、前記本体は、制御ユニット(32)と、前記投与量容器(26)を開放する開放ユニット(40)とを備え、前記制御ユニット(32)は、前記開放ユニットを作動して、吸入事象のために前記投与量容器(26)を開放することを特徴とする、吸入器。

【請求項2】

前記予め計量された投与量の吸入可能な薬剤が複数のプリスター内に収容され、前記各プリスターが1回分の薬剤を収容する、請求項1に記載の吸入器。

【請求項3】

前記カートリッジがカバーを更に備え、前記カバーは、このカバーがマウスピースを実質的に覆う保護位置と、前記マウスピースが露出される使用位置との間で移動できる、請求項1又は2に記載の吸入器。

【請求項4】

前記カートリッジは、ユーザが作動させることができるとも1つのアクチュエータをさらに備え、前記アクチュエータおよび前記カートリッジは、作動時に前記投与量貯蔵部からの1回分の吸入可能な薬剤にアクセスしてこの薬剤をユーザへ供給するための供給構成で配置できるように構成される、請求項1～3のいずれか1項に記載の吸入器。

【請求項5】

カバーの移動が前記アクチュエータを作動するように、前記カバーが前記アクチュエータに接続され、前記カバーは、このカバーがマウスピースを実質的に覆う保護位置と、前記マウスピースが露出される使用位置との間で移動できる、請求項4に記載の吸入器。

【請求項6】

前記アクチュエータは、移動可能なマウスピースカバーの形状である、請求項 5 に記載の吸入器。

【請求項 7】

前記本体が凝集塊除去機構を含み、前記凝集塊除去機構がエネルギー源とトランスデューサとを備え、前記トランスデューサは、前記エネルギー源からエネルギーを受けるとともに、そのエネルギーの少なくとも一部を1回分の吸入可能な薬剤に伝えて前記吸入可能な薬剤の凝集塊除去を補助する、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の吸入器。

【請求項 8】

前記エネルギー源が電気エネルギー源であり、前記トランスデューサが振動要素を含む請求項 7 に記載の吸入器。

【請求項 9】

前記振動要素が圧電素子を備える、請求項 8 に記載の吸入器。

【請求項 10】

前記本体は、この本体の取り付け側面に対して垂直に延びる脚部を備え、前記本体の前記取り付け側面は、吸入器を形成するために前記カートリッジが取り付けられる面である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の吸入器。

【請求項 11】

前記カートリッジが投与量表示領域を含み、前記本体が窓を含み、前記カートリッジが前記本体に取り付けられるときに前記窓を通じて前記表示領域の少なくとも一部が見える、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の吸入器。

【請求項 12】

前記供給構成に容器を配置することは、前記貯蔵部から当該貯蔵部の外側位置への容器の移動を含む、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の吸入器。

【請求項 13】

前記カートリッジは前記アクチュエータに結合される駆動機構も含み、前記アクチュエータの動きによって第 1 の位置と第 2 の位置との間で前記駆動機構が駆動され、前記アクチュエータが前記第 1 の位置から前記第 2 の位置へ移動される際に、前記駆動機構は、容器を前記投与量貯蔵部から開放位置へと移動するよう作動可能であり、前記アクチュエータが前記第 2 の位置から前記第 1 の位置へ移動される際に、前記駆動機構は、さらに前記容器を前記投与量貯蔵部へ戻すよう作動可能であり、前記容器が開放されれば、前記駆動機構が、次に前記アクチュエータが移動されるときに異なる容器を取り出すべく指標付けする、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の吸入器。

【請求項 14】

前記本体の開口は、柔軟な膜でほぼシールされて、前記本体と前記カートリッジとの間の機械的な結合を可能とする、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の吸入器。

【請求項 15】

請求項 1 に記載の吸入器で用いるのに適したカートリッジであって、このカートリッジが投与量貯蔵部を備え、前記投与量貯蔵部が複数回投与量の吸入可能な薬剤を収容するのに適する、カートリッジ。